

## つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会

日 時：平成30年10月14日（日） 10：00～11：30

場 所：伊奈公民館

出席数：60名



### ■ 質問・意見交換一覧

市 民 1 資料14ページの「6. アンケート集計報告⑧」問9について、アンケート用紙に意見を出したのですが、それに対して回答はありますか。

市 アンケートを書く前提として、個別に対する回答はしないという形をとらせていただきました。今回いただいたご意見については、取りまとめを行い審議会に説明し、審議会での検討の参考にさせていただきます。

アンケートでいただいた貴重なご意見については、市としてまだ方針が出ていないのでお答えできない、ということをご了承ください。

今回、お答えできる部分については、しっかりお答えとしていきたいと思えます。

市 民 2 資料15ページ、子どもの状況のグラフを見て質問させていただきます。

例えば、7年後、中学生の生徒数は当面増えていくと思いますが、現在の施設の容量ではどのくらいまで賅えますか。増設しないといけないのか、プレハブを建てることで賅えるのか、その辺の検討状況を教えていただきたいと思えます。

市 現在の市内の中学校で言いますと、全部で4校あります。生徒数と普通教室数だけで申し上げますと賅えるという状況です。ただし、現在の学区の割り振りで言うと谷和原中は足りないという状況で、概ね平成35年くらいには不足するという見込みを立てています。

市 民 3 中学校の新設というのは、小学校の統廃合や現状の中学校4校の統合と関係する議論なのか、それとは別に議論を進めることが出来るものなのですか。その辺りに関する市の基本的な考えをお聞かせいただきたいと思えます。

市 基本的には、中学校があつて、そこに通う小学校の学区があります。よつて中学校の適正な数を踏まえた上で、中学校の学区を考えていかなければならないため、小学校、中学校というのは一体的に考えていきたいと考えています。

市 民 3 小学校の統廃合をしないと中学校の新設はないということですか。

市 まず、中学校の適正配置を考えた上で、そこに小学校を当てはめます。まず中学校を整理した上で小学校を考えます。小学校から中学校に通うということがあるので、そこをきちんと整理していきます。

また、中学校の学区は市全体で見えていく必要があると考えています。おおかた中学校の学区を見据えて小学校となつていきますが、そこは密接な関係がありますので、中学校の線引きが決まつてから、その中で小学校ということになるかというところ、そこはフィードバックしながら審議されていく部分もあると感じています。その点は、中学校が決まつたからそれで決まりということではないということをご理解いただきたいと思います。

市 民 3 みらい平地区の中学校新設の検討と他の部分については、ある程度、切り離して議論するほうが市民の憶測を呼ばずに済むと感じています。みらい平につきましては、10年後だと市内の中学校の6割くらいの生徒が集中するということですので、今後6割の生徒がスクールバスでの通学というのは教育環境としていかなものかと思ひます。

市 民 4 教育には時間とお金がかかります。もちろん、今回の審議会にもお金がかかると思ひますが、その辺は我々市民には見えても聞こえてもきません。

それと複式学級の弊害について説明していただきたいです。私は複式学級を経験してきましたが、ちょっと抽象的なので具体的にお願いします。

市 審議会については、まず、構成委員を20名としています。その中に各小学校区の方を最低1名入れるようにしています。まず、市議会議員の代表が2名、行政協力員の代表の方が4名、小中学校のPTA関係者が7名、学校関係者が2名、学識経験者が3名、公募による市民が2名の合計20名という形で今回の審議会を運営させていただきます。

次に、複式学級の課題点を説明させていただきます。複式学級の弊害について、文部科学省「公立小学校・中学校の適正配置に関する手引き」によると9点あげてあります。

まず1点目が、集団の中で自己主張したり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につきにくい。2番目といたしましては、児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化されやすい。3番目、協働的学びの実現が困難となる。4番目として、教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。5番目、切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。6番目、教員への依存心が強まる可能性がある。7番目、進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。8番目、多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。9番目、多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。というようなことが言われています。

市民 5 先ほど審議会のお話の中で、委員構成20名の方の内訳をお聞かせいただきました。各地区の代表ももちろん大事なご意見を持っていると思いますが、ぜひとも審議会委員になっていない我々PTAの意見をきちっと吸い上げていただくために、審議会の場に参加をすることが難しいかどうかお聞かせください。

市 まずは今日この場にご意見を伺う貴重な場と考えています。本日ご意見を伺えればその内容を持って審議会に説明したいと思います。

また、PTAの方々が審議会でご意見を発言したいという点ですが、来週に第1回審議会があります。その際、審議会委員の皆さまにお諮りしまして、そちらで発言できる機会を事務局としては提案したいと考えています。

市民 6 つくばみらい市では、義務教育学校、小中一貫校といった検討はされたことはあるのですか。

市 つくばみらい市では、中学校区ごとに施設分離型の小中一貫教育を展開していますので、施設一体型の義務教育学校については検討していません。

市民 6 先ほどみらい平地区の話もありましたが、中学校の新設を検討するのであればそういうことを考えるべきではないかと思います。

市 審議会に取り上げさせていただきたいと思います。

市民 7 審議会に出席するPTAの方7名の小学校区を教えてください。なぜかと言いますと、7名ということはどこかの地区が抜けているのではないですか。

市 小中学校のPTA代表者の学校区を申し上げます。三島小，小張小，板橋小，東小，谷原小，十和小，小絹小学校。その他の小学校区については，区長会の代表の方を審議会にお願いしています。区長会では，谷井田，豊，福岡，みらい平地区となっています。

市民 7 みらい平に中学校を建てるかどうかの検討をこれからするのに，富士見ヶ丘小と陽光台小の方はどうなっているのですか。

市 みらい平地区は，区長会の方1名と，公募で応募された方を1人お願いしています。みらい平地区を含めて市全体のご検討をいただきたいと考えていますので，ご理解いただきたいと思えます。

市民 7 区長が代表者の地区のPTAの意見は，小学校から区長へ話がいき，それから審議会となると，手間というか時間がかかってしまうのではないですか。

市 市としては，適正配置については，まず第一に子どもたちの教育環境が大切であるということです。やはり，適正配置を進める上では，地域にとっての学校，それから学校にとっての地域ということで，区長さん代表の方々のご意見も適正配置を進める上で伺いたいたため，区長とPTAの代表の方をお願いしています。

ご指摘の部分ですが，小学校区の代表者を全員審議会に入れられないのかということと理解していますが，条例，規則に則ってやっているため20名以内という縛りがあります。その中で，できるだけ色々な立場，色々な地区の皆さまに入っただきたいということから，今回の人選をさせていただきましたので，ご理解いただきたいと思えます。

市民 7 言い分は分かりますが，保護者である私達の意見を，区長さんを通してでしか言えないというのはとても残念に思えます。

市民 8 質問が2点です。

1点目は審議会のスケジュールの件です。複式学級を優先的に解消したいという話でしたが，これは平成32年度の実施を待たずして，極力早く解消していただけるという方針でいいのですか。審議会のスケジュールを見ると，中学校の件，学区の件，幼稚園も含めて非常に多くの審議内容が入っていると思えます。これらを同時並行で審議をすると結論が平成31年度末になり，実質，複式学級の解消を実施するのが32年度になるということでは，2年間も複式学級は放置されることとなりますので，冒頭の市長の発言とは違うのではないですか。

もう1点は、10年後、20年後を見据えて、という市の説明がありましたが、そもそもこの適正配置は遡ること平成21年からやっけていて、10年が経過しても何も進んでいないというのは、前市政の大きな汚点ではないかと思ひます。今回については確実に実施し、先送りすることなく結論を出すということではいいですか。

市 複式学級の早期解消が可能かどうかということですが、本来であれば31年4月には少なくとも東小学校、板橋小学校の統廃合のスケジュールが出ていたわけです。それができなかったことから、今回再検討をするという考へのもと始まりました。それに向けては1日も早い結論を出したいと考へています。審議会を経て来年度中には複式学級についての結論を出さなければいけないと思ひていますので、最優先事項として複式学級の解消にむけた結論は、この2年間を待たずに出していきたく思ひます。

2番目の、行政がしっかり結論を出すかという質問に関しては、少なくともこの2年間の審議会の中で、全てのスケジュールの判断をすべきだと考へていますので、そこは的確な判断をして皆さんにお示しをしたいと思ひます。

市 民 9 豊小学校は谷井田小に統合される予定になっていますが、児童が果たして谷井田小まで自力で通学できるのか、非常に疑問に思ひています。スクールバスを出せばいいと簡単に考へていますが、子どもが雨の中、風の中、寒さの中、自力で通学するということに大変重要な意味があると思ひます。その中で培われる精神力や自立心、忍耐力、体力、これは学校教育での机上の勉強に勝ります。小さい時から体を張って見につけた能力は、将来社会に出た時、非常に瞬発力になります。

私の地区は豊地区で守谷駅に近いのですが、新しい住民もどんどん増えてきていて、新しいお家もどんどん建ちはじめています。将来的に長い目で見た時に、豊小学校を残せるなら残したいというのが私達地域住民の願ひであります。

司 会 貴重なご意見として頂戴させていただきます。

市 民 10 先ほど審議会委員の委員構成が20名ということで、全ての地区のPTAの方が入れないのは条例等で決められた人数があるからだとお聞きしましたが、既存の枠の中で話し合いをしていて本当に進んでいくのだろうかという疑問があります。市の方にも既存の枠があると言うのは重々承知していますが、そこを飛び越えていただくような行動力を見せていただくと保護者としては大変うれしく思ひますので、ご検討いただけたらと思ひます。

市の方では、様々な環境で過ごしている実際の子どもの意見を吸い上げた上で審議会や説明会等に臨んでいるのでしょうか。実際、現場の子どもの声を聞いている私としては、大人だけで空中で話が舞っているような感覚がしますので、どのような考へかお聞かせいただきたいと思ひます。

市 子どもたちからの意見の聞き取りはしていません。子どもに聞きますと学校がなくなるのはさみしいという思いは当然出てくるのかなと思います。

学校の状況については、私ども適正配置推進室は8月1日に設置された直後から、学校を訪問させていただいております。加えて、学校教育課においては教育指導室というのがあり、学校の先生方がどのように指導しているのかというのを定期的にチェックしています。そこに同行させていただき、子どもたちがどういう状況で勉強しているのかを拝見させていただき、その時の状況や、大規模校と小規模校の違いなどを審議会に報告させていただいて、これからの議論の参考にさせていただくように説明する予定です。

市民 1 0 子どもたちに学校がなくなると言えば嫌だというのが当たり前だと思いますので、単純に学校がなくなるのが嫌なのかどうなのかという2択の意見ではなく、例えば、体育を人数が少ない中でやっていたり、逆にすごく多い中でやっているというような状況を、実際に子どもたちに質問するなど、子どもたちに密に接していただきたいと思います。現在の学校の在り方について子どもたちも小さいなりに思うところがあると思いますので、声をかけていただいたり質問したりしていただけるといいと思います。

司 会 貴重なご意見として頂戴いたします。

市民 1 1 1つ目の質問は、先ほど、板橋小と東小の統合が駄目になったという話がありました。なぜ駄目になったのかをお聞きしたいと思います。

2つ目は、アンケートにもありましたが、各学校は地域のコミュニティを維持するポイントとなる場所です。したがって、統廃合の際、統合される側の施設がその後どういう形で残るのか、あるいはなくなるのかを含めて、再利用などがあるのかについて、市でどの程度検討が進んでいて、活用事例に関する蓄積があるのか等、お聞かせいただきたいと思います。

市 統廃合のスケジュールが進まなかったというのは、行政の怠慢だと言わざるを得ないと思います。その打開策として、今年8月に機構改革を行い、適正配置推進室を立ち上げました。それによって、専門的に適正配置について進めて行くことができると考えています。

また、最終的には行政が決断しなくてははいけませんが、現計画では、地域の皆さんとの合意が得られたら進めるという前提がありました。つまり、地域の皆さんが合意しなければ何もできないということでした。しかしながら、それは適切な行政運営ではないと考えております。市民の皆さんのご意見を聴かないということでは

なく、行政主導という言葉があるように、行政が将来を見据えて判断、決断をしなければいけないことがありますので、そこはしっかりと責任を持って行政判断をし、皆さんにきちんと説明をしたいと思っています。

2つ目の地域のコミュニティということですが、すべての小中学校は大規模改修、耐震補強を実施し、これからもまだまだ使える施設です。そのため、閉校となる学校は市の財産として活用していきたいと思っています。これまでは、教育委員会だけで跡地利用の検討をしていましたが、市内一体となり全セクションで協議していくということをやっていますので、市内で検討は行っているということで回答と代えさせていただきたいと思います。

しかしながら、地域コミュニティの施設の活用方法について、一緒に議論してしまうと議論がまとまりません。地域のコミュニティの場というのは一旦置いておいて、まずは統廃合するのかわからないのかを皆さんに考えていただきたいと思います。その後、地域コミュニティの施設としてどう利用するのかを考えるべきだと思います。説明会を実施すると、どうしても施設の活用方法に話がそれてしまいますので、そこは統廃合とは別に考えるべきだと思っています。

市民 1 1 小田川市長になって、教育委員会の過去の問題についての動きを見て、新しいセクションを作って新たに進める、この意気込みを大いに評価したいと思います。逆に言うと、事務局の皆さま方は一層の緊張感を持って頑張してほしいと思います。

もう1つ、統合された後の施設の問題ですが、今言われたように、切り離してやるという気持ちはよく分かります。こういう場面でその前提を置いておかないと、子どもを学校に通わせている保護者の方々とは別に、地域のコミュニティとして期待をしているある一定年齢以上の住民にとっては、どうしてもそこに想いがいきます。したがって後でやるということであれば、この説明会も含めてこの問題を最初から、今日は検討しませんと宣言してやっていただきたいと思います。そうしないとそちらに話が転がっていくような気がします。

市民 1 2 これまでも東地区の意見交換会に出席させていただきましたが、もう少し市としての考え方や、今おっしゃっていた判断、あと今後の方向性もその場でご決意いただければと思います。これまでも意見交換会に出席していた中で、保護者側の意見をすごく聞き取ってくれている姿勢は感じますが、それが強いせいか、どういう方向に誰がかじ取りをしていくのか見えにくいところがありました。

行政と先生と保護者と子どもという色々な人たちが絡み、なおさら決まりにくい場だと思います。市からは行政判断という言葉で何度か説明いただきましたが、そういったものを持ってきていただきたいと思っています。

司 会 貴重なご意見としてお受けさせていただきたいと思います。

市民 1 3 この1年で何回くらいの審議会の開催を予定していますか、また1年でまとまるのでしょうか。

私は豊小学校出身ですが、学校をなくしてもらいたくないという意見です。豊小学校の歴史は131年あります。豊小学校区においてはデベロッパーが入り、新しい住宅や開発が進んでいます。そういった背景も反映されているのか、お聞きしたいと思います。

市 審議会の今年度の開催については4回を考えています。あとは審議の内容によって回数が増えていくというところです。基本的には今年度4回の会議の中で素案を作りたいと考えています。この素案をもとに来年度その素案を皆さんに公表しながらご意見をいただいて修正という形で、それも4回程度を考えています。今年度4回、来年度4回の計8回で基本的には用意していきます。審議会委員のご意見によっては回数が増える可能性があるということです。

豊小学校の存続については、貴重なご意見をいただきましたので審議会に報告したいと思います。

市民 1 4 アンケートについて、配布数に比べて回収数が少ないと思いますが、これに対し今後、回収数を上げるようなアンケートをお考えですか。説明会についても、もう少し皆さんに周知して多くの方が説明会に参加された方がいいと思います。それについてどのようなお考えかお聞かせいただきたいと思います。

市 今後のアンケートについては審議会と相談しながら、場合によっては適宜追加してやっていきたいと思います。今回のアンケートは全戸配付という形で約19,500に対して回収数が232で少ないと確かに思っています。今後についてはもう少し周知をしっかりとしたいと思います。ただ今回のアンケート結果について票数は少なかったですが、自由意見で反対や賛成などの理由を約9割の方からご意見をいただいており、それについては大変貴重でありがたいと思っています。生の意見を記載していただいたことについては有意義だったと考えています。

周知方法については、今回の説明会についても広報や説明会、直前には行政協力員を通じて回覧という形も取りました。当然ホームページでもしていますので、基本的には今のところこの方法しかないのかなと思います。ただ、もう少し皆さまに知っていただける部分についてあるかどうかきちんと考えながら、多くの皆さまに知ってもらえるようにPRしていきたいと思います。



市民 1 PRの仕方が固いと思います。言葉をそのまま書かれてどうですかと言われてもまず見ません。目を引くようなPRをしていかないといけないと思います。

市 文章が長いというのがありますので、ぱっと見ても分かりやすいものにしていきたいと思います。

司 会 予定の時刻を過ぎてしまいました。以上を持ちましてつくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画再検討説明会を終了いたします。長時間の説明会にご協力ありがとうございました。

### ■ ご意見シートで提出いただいた内容

No	内 容
1	各地区、各立場での様々な意見に接することができて、とても良い機会であった。これからスピード感をもって決断して実施して行ってもらいたい。御苦労様でした。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの回答が少なく残念です。</li> <li>・スケジュールの明確な説明を廃合対象校から早めにしてもらいたいです。</li> <li>・説明会の案内は広報紙だけでなく、各学校へも必要だと思う。</li> <li>・田村地区の近くに住んでいる子どもたちは、十和小学区なのか富士見ヶ丘学区なのか、はっきり分かる学区説明が欲しい。</li> </ul>
3	<p>本日の質疑応答の場で、「もう少し行政の考え方、今後の方向性をもって意見交換会を開いてほしい」と意見しました。</p> <p>今後、各校との意見交換を進める上でも、目的に沿った軸をまずその場で共有し、それから行政判断と保護者の想いをすり合わせれば建設的に話が進むと思います。Yes かNoに分かれるのは当然なので、白か黒ではなくグレーな落とし所に着地点を見出し、「条件付き合意」にもっていくのが一番現実的だと思います。</p>
4	小田川市長の決断力、リーダーシップに期待します。
5	<p>①アンケートについて</p> <p>この問題についてのアンケートを行ったことの記憶があまりありません。全戸への配布の仕方、アンケートには全員(全戸)が対象であることの伝達不足等があったのではないかと。この説明会でも出された意見等も踏まえ、また回収方法等も考えて実施して欲しい。</p> <p>②早急な解決(結論出し)と地区ごとの特性を加味した対応の必要性</p> <p>協働の検討会(先月実施)でもあったように、この市はいくつかの特性の違う地区に区別され、地区ごとの対応(ex 子どもが少ない地区は早期の複式学級の解消、子どもが増える地区は当面の対応としての小中学校の新設【但し15～20年後</p>

	<p>の子どもの急減も考えたもの】)も検討すべきでしょう。</p> <p>教育環境の整備は最大の課題であり、早め早めの対応をお願いします。</p>
6	<p>廃校対象となっている学区の住民や保護者(子ども)にも廃校に対する意見を聞いて欲しい。(アンケートだけでなく顔を合わせて)</p>
7	<p>前回アンケート結果に対する回答なし→今までと何も変わりません、何の為だったのか。集計しておしまいで、意味わかりません。</p>
8	<p>告知の方法。進捗状況の告知。</p>
9	<p>審議会の人数、メンバーについて再検討をお願いします。</p>
10	<p>色々な地区、立場、年代の方の意見が聞けて有意義でした。</p> <p>統廃合の必要性はわかるのですが、学校がなくなるというのは地域の過疎化がますます進む一因になると思います。東地区に嫁いできましたが、近くに学校が無ければ越して来ませんでした。近くに学校があつて子育てができるからこそ、若い世代が住むのではないのでしょうか。市の二極化がますます進みそうで、学校がなくなることは不安です。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成35年谷和原中学校の教室数が足りなくなると言っていましたが、どれ位足りなくなるか教えてほしい。</li> <li>・統合された小学校に仮に通うとして、通学方法、徒歩、スクールバス等、詳しく聞きたい。</li> <li>・中学校作るより、通学路の整備をするべきではないかと思う。</li> </ul>
12	<p>審議会のアンケートを基にした望ましい規模校への統廃合が進められようとしている現状だが、規模だけ合わせても小規模校の子ども達たちにとって、今以上の良い教育が成されるのか甚だ疑問です。</p> <p>小張地区に住んでいますが、小張小の子どもたちは登下校時に会うと必ず挨拶をしてくれます。近くの陽光台小の子どもたちは挨拶を返してくれません。大規模校に統合されて道で会う子ども達が知らぬ顔で通り過ぎる街はさみしいとは思いませんか。統合の前に学区を柔軟に考えて、隣接する地区は学校を選べるようにしてみるの如何でしょう。小さくても情操豊かに教育されている学校を残して欲しい。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再検討には賛成。</li> <li>・小学校の廃校は地域の過疎化をより進めることになるので反対。</li> <li>・複式学級が発生している小学校は、県とも連携して教員の確保をしっかりとやってほしい。</li> <li>・板橋小では給食費を払わない人がいると聞いているので、並行して足元の小学校の問題も解決してほしい。</li> <li>・伊奈東中は荒れていると聞いているが、安心して通わせられる中学校になるように改善してほしい。</li> <li>・小学校間の交流をもっと進める施策を実施してほしい。</li> </ul>

1 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の説明で、「審議会委員は条例で20名と決まっているので、全小学校のPTAは委員になれない。PTAが委員となっていない小学校区の代表は区長会の方。」であると聞きました。しかし、PTAと区長では意見が違ってくると思う。区長がどれだけ学校へ行っているか？公平にするには各学校で同じ役の方が参加した方がよいと思う。子どもたちのためとは大きく言っているが、本当にそう思っているなら、条例の20名の枠も変更できるのではないのでしょうか？</li> <li>・教育委員の方は審議会ばかりではなく、もっと足を動かして各学校へ出向いて、先生方のご意見を聞く、情報をとらなければならないと思う。各学校、問題はそれぞれ違いますので。</li> <li>・意見交換会、説明会の規模もだんだん縮小されています。最初は各小学校で実施されていました。参加者も少なくなっています。今日の説明会の連絡の仕方は足りない。回覧板のみですか。学校からの手紙・ホームページ掲載・広報紙に載せるなどもっと行わなければなりません。知らないで参加していない人が多くいます。</li> <li>・新規の小学校をどんどん造っていますし、中学校も造りたいとか言っていますが、建設費は莫大な費用がかかります。つくばみらい市は住民税が近隣に比べて高いです。住みにくくなってしまう。</li> </ul>
1 5	<p>小田川市長のもと、平成31年度中に結論を出されるということで、大変期待しております。</p> <p>検討の経緯（議事録など）を出来る限り公開いただき、市民やPTAとしっかり対話しつつも、最後は主体性をもって判断いただきたいと思います。</p> <p>過去に陽光台と富士見ヶ丘の学区制についても、不透明なところがあり、一部の方が意見を押し通したとPTAの間では話が出ております。真偽のほどは分かりませんが、そういった話が出ないように、前述のとおり、情報公開については、しっかりお願いします。</p>
1 6	<p>豊地区に新しい家が続々と建っています。皆小さいお子さんを連れて、つくばみらいに来られ豊小に通う予定です（私も同じ考えで引っ越してきました）。守谷駅に一番近い地区として、10～20年後にはもっとたくさんの若い方が引っ越されてくると思っています。豊小に複式学級はありません。合併は反対です。</p>
1 7	<p>アンケート回収は、大変少ない。</p> <p>「統廃合」賛成、反対は、地域（小学校区）の割合も報告されたい。地域の理解ができていなかったとするならば、地域の割合も出してほしい。</p>

18	<p>本日はお世話になりました。私は豊小学区に居住している参加者です。豊小学校は守谷駅まで自転車で（小学校から）12～13分で行けます。現在在校生は110名位ですが毎年12～18名程度の新入生が入ります。また新しい住宅開発にともなって新住民が増えております。今後予定されている開発もあり、ロケーションの点を考えても豊小学校を谷井田小学校に統合せず、単独運用を望むものです。何卒、御検討下さいます様宜しく願いいたします。</p>
----	---